

# 次年度の活動計画について

令和4年3月9日

三重県市町総合事務組合

# 次年度の活動計画

## 1. 第4期共有デジタル地図更新・事業計画(案)の改定

- 平成30年度に策定された事業計画(案)の改定及び製品仕様書(案)を改定する。

### 事業計画(案)初版の検討経緯

| 主な検討事項   | 検討結果   |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・共有デジタル地図成果の成果仕様に対する要望等を把握。</li><li>・更新事業の開始時期の検討</li><li>・成果仕様、費用計画、工程計画の検討</li></ul> | <p>アンケート・ヒアリング調査より<br/>☆成果仕様については第3期更新事業の成果仕様と同じで概ね問題ない</p> <p>《市町からの要望事項》</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・固定資産業務での利用を踏まえ、空中写真撮影を3年に一度としたい。</li><li>・撮影後には、早々に仮オルソの提供をお願いしたい。</li><li>・都市計画基礎調査で最新のデータが利用できない。</li></ul> <p>《共通認識》</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・更新開始時期は、2023年度とする。</li><li>・成果仕様については、第3期更新事業の成果仕様と同じとする。</li><li>・整備範囲は全域を対象とする。</li><li>・費用計画(案)として、第3期更新事業の経年変化実績値等をもとに、総額9.10億円(税抜)とする。</li></ul> <p>《その他》</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・高解像度化</li><li>・3年サイクルの共同撮影の検討</li><li>・都市計画基礎調査と共有デジタル地図の関連性、森林分野における利用拡大検討</li></ul> |

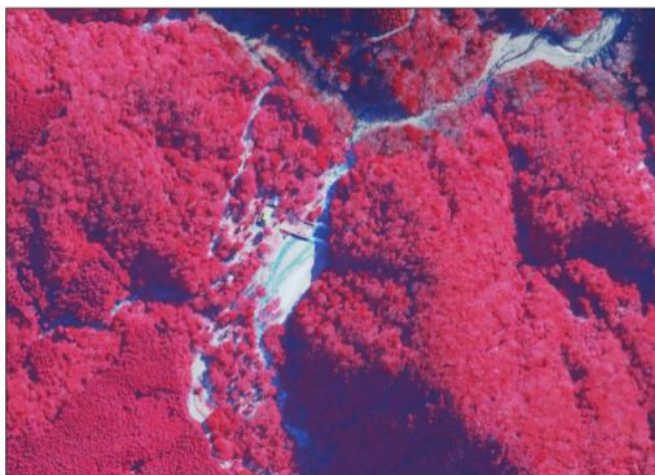
- ・ 平成30年度に事務局及び技術部会で事業計画案を策定済
- ・ 令和元年6月の検討委員会で事業計画案承認

# 次年度の活動計画

## 事業計画案策定時に検討継続とした事項について

### ①空中写真成果について

- 近赤外線オルソの追加: 森林分野、都市計画などで利用。



近赤外画像カラー合成

#### 近赤外線画像写真地図データ作成仕様(案)

座標参照系: JGD2011, TP/6(X,Y,H)

データ型式: TIFF形式

位置情報ファイル: ワールドファイル仕様

単位: 国土基本図図郭(2500)図葉単位

地上画素寸法: 0.15m以内

- 写真地図データ(簡易版)の早期提供: 都市計画基礎調査及び市町における固定資産税業務等において利用可能とする
- 写真地図データ地上画素寸法の変更: 市町の継続利用の観点から、令和2年度に行った市町共同撮影との整合を図る

# 次年度の活動計画

## ②経年変化箇所データの追加

- 経年変化箇所GISデータ:砂防分野で需要が確認されたため、成果物として位置付ける。

### 土砂災害防止法基礎調査（二巡目以降の調査の考え方）

- 二巡目以降の調査とは・・・一巡目調査の完了後、二巡目以降に実施する基礎調査

R元年度

（法定根拠）

#### 法第4条（基礎調査）第1項 より

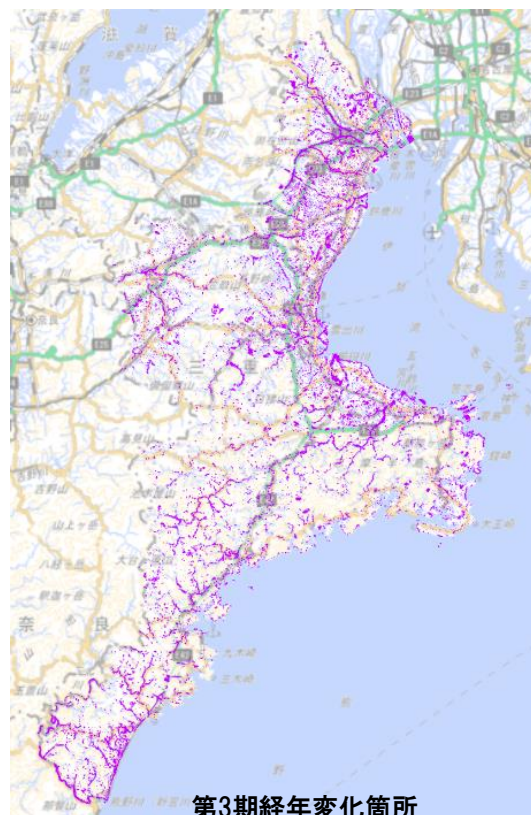
都道府県は、基本指針に基づき、**おおむね五年ごと**に、第七条第一項の規定による土砂災害警戒区域の指定及び第九条第一項の規定による土砂災害特別警戒区域の指定その他の法律に基づき行われる土砂災害の防止のための対策に必要な基礎調査として、急傾斜地の崩壊等のおそれがある土地に関する地形、地質、降水等の状況及び土砂災害の発生のおそれがある土地の利用の状況その他の事項に関する調査（以下「基礎調査」という。）を行うものとする。

#### 土砂災害防止対策基本指針 より

二巡目以降の基礎調査については、**おおむね五年ごとに、各区域における地形や土地利用の状況等を確認し、変化が認められた箇所等については、現地確認を行うなど、詳細な調査を行うものとする。**

三重県共有デジタル地図（三重県市町総合事務組合所有）の更新に合わせ、調査を行う。  
（H18、H23、H29撮影（例年5～6年間隔で撮影））

出典：三重県砂防防災課資料より抜粋



第3期経年変化箇所

## ③中間納品の設定

- 都市計画基礎調査における共有デジタル地図利用の観点から、空中写真撮影及び数値地形図更新成果の一部について中間納品を設定する。

# 次年度の活動計画

## 2. 共有デジタル地図の部分更新の実施

- 数値地形図の部分更新を実施

- ★ 市町からの要望及び大規模な地形等変化箇所を対象に、概ね50箇所程度までを選定する。地図更新の素材として、工事完成図書(竣工図CADデータ)等の他、R02市町共同撮影の成果を利用。

## 3. 共有デジタル地図の利活用促進

- 3D都市モデル構築にかかる支援

- ★ 3D都市モデル構築にかかる支援(3～5市町)

ニーズ調査、庁内検討用データの試作、本格導入に向けたコンサルティングを実施

- 共有デジタル地図の利活用支援

- ★ 共有デジタル地図及び地理空間情報集約システムの利活用促進を実施する。

次年度も会議開催はWEB形式併用で開催します